

福島県PTA連合会会報
第27号_H01.02.25



回顧この一年

県連PTA会長 本田 文吾

県連PTA会報

福島市黒岩字田部屋53-5 内会館
 福島県青少年会館内
 福島県PTA連合会
 電話0245(45)5982
 発行人 本田 文吾
 印刷 泉孔印刷所
 電話57-1071

この一年間、会長という大役をおおせつかりましたが、その責任の重大さを、痛感し続けてまいりました。職に就いて、県PTA連合会の持つ役割の大きさを再認識し、微力ではありましたが、自分なりに全力を傾けて活動に取り組んでまいりました。この間、県下会員の皆様の暖いご支援をいただきましたこと、厚くお礼申しあげます。

さて、PTAの現況を見ます時、各単Pでも鋭意努力されておられることですが、多くの課題を残しております。二十一世紀を担う子ども達が、心豊かで健全に育つために、社会参加や環境浄化について、家庭、学校、地域社会が、相互に連携を図り、積極的に活動を展開する必要があります。その中心となるのが、PTAでなければならぬと思っております。

また、家庭教育の充実を図ることにより、その教育力を回復し、望ましい親子関係のもとで、それぞれの役割を認識し、実践活動を通してながら、自らをコントロールする力と、思いやりの心を育てることも、大切なことだと考えます。

日本PTA創立40周年記念式典 輝く文部大臣・日P・東北P会長受賞

自ら逃避したり、仲間から疎外される子どものいることを重視し、心を育てる教育の必要性を認識し、PTAの重点活動として、取り組む必要があると思っております。

席上、文部大臣・日P会長からは、多年に亘りPTA活動に尽力した功績を讃え、表彰状を贈られた。



日本PTA創立四十周年記念式典

菊かおる昭和六十六年十一月十六日、徳仁親王殿下のご来臨を仰ぎ、内閣総理大臣、文部大臣をはじめ、各界から来賓多数のご臨席のもと、日P創立40周年記念式典が、ホテルニューオータニの鶴の間で、盛大且つ厳粛に挙行された。

◇日P会長表彰

喜多方市立第三中PTA

いわき市立長倉小PTA

◇個人表彰

若林 大(若松連P会長)

幕田勝寿(田村連P会長)

渡部省一(南会連P会長)

下山政一(県連P事務局)

◇東北P会長感謝状並びに表彰状贈呈

この贈呈式は昭和六十三年九月十六日、岩手県北上市民会館において開催された東北PTA研究大会北上大会の開会式の席上行われ、感謝状、表彰状等が贈られた。

本県からは、次の団体が個人が受賞した。

◇個人感謝状

阿部真樹(前県連P会長)

◇団体

平田村立小平小PTA

塙 町立塙小PTA

猪苗代町立東中PTA

金山町立本名小PTA

高田町立赤沢小PTA

只見町立只見中PTA

◇個人

渡部 晃(前東中P長)

森 啓子(前郡山五中副)

鶴水洋子(前若松四中副)

桑原兵永(県連P事務局)

井関鉄雄(前大沼連局長)

田畑光三(前吾妻中P長)

小林四郎(前福島連P副)

渡辺庄一(前移中P長)

菅家 清(前小野川P長)

阿部郁夫(いわき連局長)

桑原兵永(県連P事務局)

尻谷 洋(県連P事務局)

井関鉄雄(前大沼連局長)

永井七郎(県連P事務局)

阿部真樹(前県連P会長)

喜多方市立第三中PTA

いわき市立長倉小PTA

若林 大(若松連P会長)

幕田勝寿(田村連P会長)

西条 善男
(元県連P会長)

阿部 真樹
(前県連P会長)

浪江町立浪江小PTA

◇個人表彰

本県で、その栄に輝いた方は、次の通りである。

◇文部大臣表彰

阿部 真樹

浪江町立浪江小PTA

◇団体表彰

喜多方市立第三中PTA

いわき市立長倉小PTA

▼施設委員会
校舎内外の整備、除草
校庭の整地等、学校環境
の美化、情操の純化に成
果をあげています。

奉仕作業の出席率は、
毎回百％近いものでした

▼厚生委員会
プールの清掃、いなご
とりへの協力、親子給食
会等、親子の対話・交流
を深める活動を大切にし
てきました。

いなごの利益金は、
子どもたちのために各種
スポーツのボール、一輪
車、図書等の購入にあて
られました。

▼校外指導委員会
地域ぐるみの補導活動
プール監視、自転車教室
と許可検定、危険箇所の
点検と標示等、児童の健
全育成と事故防止に全力
を注いできました。

また、地域の伝統であ
る盆踊りを指導し、地域
文化の伝承にもつとめて
います。

その他、学校林委員会
学年委員会、幼稚園委員
会があり、学校と家庭・
地域社会が一致協力して
PTA活動を推進してい
ることは、他に誇れるも
のです。

金山町立本名小学校PTA

Aが、六十三年度、県連P、東北連Pの表彰を受けた。これまでの長い間における歴代PTA会員の努力や、地域の人々の協力が評価されたものと喜びにたえない。今後のPTA活動にも自信を持つことができ、喜びもひとしおである。



過疎の町村は、いずこも人口が年々減少し、それに伴い児童数も減って

いる。本名小も言うに及ばず、二十年前の四十三年当時は、六学級百三十名いた児童が、今は、三学級、二十五名に激減している。もちろん、学校統廃合による事情はあったが、二十年間で1/5以下になっている。

しかし、児童は少なくとも、子供たちの学校での活動や、PTAの活動は活発である。

七夕音楽祭、学習発表会、科学発表会、収穫祭校内スキー大会などの学校行事へは、会員が全員参加で協力し、特に、大会行事などへは、肉親や家族の参加が多く、会をもりあげているのが特徴

と言える。PTA活動は主体的、積極的で、常に100%の参加率である。プール清掃、プール監視当番、学校のガラスみがき、親子ハイキング、

文化祭、親子みかぐろ登山、スキーツアー、両親学級文集「みかぐろ」編集などが主なもの、会員はもとより、地域の協力を得ながら行われている。

特に秋の運動会などは、地域をあげてのイベントとなっており、行政区長をはじめ、青年団、婦人会、公民館、老人クラブなど各種団体と学校、PTAが一体となって進めている楽しい催しとなっている。

また、本校は、父母と教師の間の信頼関係が伝統的に強く、PTAを運営する上で大きな力となっている。地域に根ざした教育とそれを支える環境づくりが継続した課題となっている。

生徒育成を

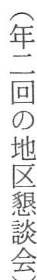
只見町立只見中学校PTA

本町は、人口六千五百人という豪雪と過疎の町である。この町に三中学校があり、本校は生徒数九十一名PTA会員九十九名の小規模校である。

2年前に中学校では珍しいオープンスペース方式の新校舎が完成、多目的ホールなども

3. 関係諸機関・団体との連携などを目標として次のような実践活動に取り組んでいる。

昭和六十一年度から二年間、文部省から「生徒指導総合推進校」として研究指定を受けて「自から進んで行動できる生徒の育成」を主テーマに学校とPTAが一体となって取り組んできた。特にPTAでは「家庭地域との連携を密にして生徒の健全育成をはかる」ことをねらいとして



◎地区懇談会の開催二回目はPとTのみで実施、学校と家庭間を中心に懇談する。二回目は地域全体に呼びかける。特に小・中・高の連携に務める。

◎回覧ノートの実施
支部毎に一冊づつ廻し、必ず一言づつ書いてもらう。その後校長のコメントを加え、又廻す。またこれを話題とした雑談会を二回もっている。

◎両親学級等の開催
学級や講演会の開催により、親の教育力の向上に務めている。

◎PTAだより、学校だより、生徒の歩みノートなどの活用により、PTA・学校・生徒の情報交換を密にしている。

◎親子の社会参加活動の実施。

地域での交通安全活動
おまつり、早起きクリ
ン作戦などに親子で参
加して、社会性、奉仕精
神を養うように務めて
いる。その他、「生活指
導委員」を必ず父会
員とする。こととし、
母親PTAとならない
ように務めている。

県内PTAの交流を深めながら、母親リーダーの資質の向上をめざす、昭和六十三年度母親リーダーセミナーは、県教育庁社会教育課池田満吉先生を、講師にお迎えし、十月から十一月にかけて、県内四方部で開催された。

△県北方部▽

自己を顧みて

二本松二中PTA 中村 正代

偏差値に毒された現在の知育偏重の教育体制のもとに育まれた子供達は、いじめ、落ちこぼれ、受験地獄等枚挙にいとまのない深刻な諸問題の波にさらされ、親子共に苦しみ悩んでいる姿が報じられて間もない今日、この度、県PTA母親セミナーに参加させていただきPTA活動のあり方、母親リーダーとしての役割等、人生の指針となるようなすばらしいお話をいただき有意義な一日を過ごす事が出来ました。一PTAとして本当に子供達に必要な教育とは何なのか、私達は今どうあるべきなのかを改めて考え知らされたと思います。

全ての親が改めて自分の子の在りようを再点検し、そこには親が正しくなければ子供が良くなるはずはない事を思い起こ

△浜方部▽

母親リーダーセミナーに参加して

新地小PTA副会長 目黒 寿恵

去る十月二十五日、富岡町文化センターで開催された母親リーダーセミナーに参加させて頂きました。池田満吉先生の「PTAの会議の持ち方」についての御講義のあと早速「PTA運営上に果たす母親役員の役割」のテーマで模擬討議が行われました。その中で各単Pの活動状況や問題点が出されましたが、役員のな

み思案気味の末娘に「失敗は成功のもと」を説いている手前？慣れない進行役をつとめさせて頂きました。先生方の御指導と参加者の御協力のも

△県南方部▽

皆の前で意見発表

須賀川市第二中PTA 土田よね子

母親リーダーセミナーに参加しましてとても有意義な時間をすごせました。初めは、どんな問題がでるかかと心配でした。会議の進め方、司会の仕

母親セミナーに参加して

△会津方部▽

母親会員の役割

坂下小PTA 鶴見美佐子

昨年十月二十日、若松市の公民館で四十五名の母親会員の方々が集まってセミナーが開かれました。私も初めての参加だったので緊張しましたが、

緊張もとけ、笑い声さえ出るようになりました。各グループに分かれてバズセッションという討議の悩み等を話し合いました。

た。どの学校も役員選出には悩んでいるようでした。その解決策としてPTA活動は楽しいものにしなければならぬ。又役割分担がうまくいっているPTAは大変活発であるし、子供たちの健全育成に大いに役立つということがわかりました。

この研修成果を今後のPTA活動に役立てていきたいと思っています。

* * *



方など、グループごとのバズセッション（はずかしい話ですが初めて聞く言葉です。）PTA活動をさかんにすると人まかせになりやすい活動であります。本当に地味

あとは、地域の差、家族構成で、ものの考え方がぜんぜんちがいが、かなりの意見がでました。自分の体験では、書記をやってみて、聞いた事をすぐ、まとめて書けるかなと一瞬不安になりました。おちついてきたら結構まとめて書けたので一安心、何事も経験しなくては、いけないと思いました。

習字
最優秀
作品

第 12 回

子どもの災害事故防止
習字
輝く入賞者決まる

じこ
あんどたかし
平六小 一年 あんどたかし

けが
阿部邦彦
荒井小 三年 阿部 邦彦

んほけ
東梅健太郎
笹谷小 三年 東梅健太郎

加入
伊藤大輔
笹谷小 四年 伊藤 大輔



子どもの生活には、いろいろの災害事故がつきまとう。子どもも親も、安全についての正しい認識を高め、事故防止することに努めるという趣旨で、県連Pと県連P安全互助会主催の「子どもの災害事故防止ポスター・習字展」が、本年も盛会裡に開催された。

ポスターは、参加校四十七校四〇

一点、習字は参加校八十五校一、五、六四の応募があった。二月七日と八日に慎重厳正に審査が行われ、栄えある各賞が、次のように決定した。ポスター・習字とも、各学年五つの学校代表作品のため、子どもらしい力作が揃い、生き生きとした力強い作品が多かった。



▲ポスター

【小学校の部】

◆最優秀賞

石川奈津美(城北小二年)
小林 愛(城北小三年)
中川 祥子(城北小四年)
丹野 隆英(清水小五年)
鈴木 晃司(清水小六年)

◆優秀賞

関根 澄江(西山小一年)
渡部はるか(吾妻一小二年)
山岸 卓正(城北小三年)
二瓶 沙織(金上小四年)
三浦 美穂(城北小五年)
佐藤麻衣子(清水小六年)

◆優良賞

馬上 陽子(渡辺小一年)
川嶋なつ子(吾妻一小二年)
五十嵐亮裕(西方小三年)
厚海 和子(清水小四年)
笹沼 重通(川西小四年)

【中学校の部】

◆最優秀賞

大堀 芙美(堂島小五年)
五十嵐 智(堂島小五年)
天野真理子(八幡小五年)
横山 智美(城北小六年)
長谷川 彩(白河三小六年)
雲石 知規(清水小六年)

◆優秀賞

鶴沼 悦子(鏡石中三年)
鶴沼 健一(鏡石中一年)
佳 作
後藤 さち(若松二中二年)
佐久間照美(県北中二年)
本田 哲三(新殿中三年)

【小学校の部】

◆最優秀賞

あんどたかし(平六小一年)
阿部 邦彦(荒井小二年)
東梅健太郎(笹谷小三年)
伊藤 大輔(笹谷小四年)
根本 典子(本宮小五年)
青木 崇徳(赤井小六年)

◆優秀賞

つむらやしょうこ(鮫川小一年) 東梅 真美(笹谷小五年)
山田 あみ(平二小一年) 先崎 和恵(滝根小五年)
大平 なち(磐崎小二年) 瀨谷 修一(平二小五年)
大島 英一(浪江小二年) 吉田 朋美(平四小五年)
橋本 孔明(本宮小二年) 佐藤 尚幸(宮小五年)
空戸 美佳(荒井小三年) 遠藤 祐子(平二小六年)
湯田奈保子(荒海小三年) 佐藤 紀子(滝根小六年)
熊谷 直孝(差塩小三年) 鈴木喜和子(平四小六年)
吉田 英明(平四小三年) 児山 朋子(荒海小六年)
阿部奈央子(荒井小四年) 中島 陽子(渡辺小六年)
遠藤 弘道(平二小四年) 優良賞
さとうゆみ(須賀川二小一年)
二瓶 健(荒井小四年) なかのしんいち(綴小一年)
川隅 崇(好間二小四年) おかべまさえ(磐崎小一年)
矢内 絃人(平四小四年) かめいさとし(大田小一年)

ポスター最優秀作品



安全

根本 典子

木宮小 五年 根本 典子

互助

青木 崇徳

赤井小 六年 青木 崇徳

障害

北会津市 白井 香里

北会津中 一年 白井 香里

補償

大越 綾子

鏡石中 二年 大越 綾子

補償

清水中 三年 木戸 浩子

清水中 三年 木戸 浩子

おぐらともみ(綴小二年) 村上山(平二小二年) 高橋 雅貴(荒井小二年) よしだむつみ(泉小二年) 北郷 亮介(汐見が丘小三年) 佐々木直美(滝根小三年) 渡辺 絵美(平二小三年) 鈴木真紀子(高平小三年) 田子 理恵(鮫川小三年) 関口 郁恵(平六小三年) 大竹 良子(檜沢小四年) 鈴木 崇之(鶴城小四年) 森 成美(城北小四年) 渡辺 裕和(金上小四年) 柴田 美香(磐崎小四年) 菊池 理恵(塙小四年) 白井 律子(平二小四年) 永山 直美(大東小五年) 鈴木 美香(平四小五年) 比佐 貴子(小名浜一小五年) 蓮名 哲哉(金上小五年) 鈴木 美雪(笹谷小五年) 遠藤 和昭(田沢小五年) 鈴木 麻菜(荒井小五年) 大房美奈子(松山小六年) 阿部 健央(荒井小六年) 郡司真喜子(滝根小六年) 鈴木 千夏(笹谷小六年) 大島 咲子(浪江小六年) 池上 薫(城北小六年) 櫛田 智美(綴小六年)

秋山 美子(白河三小二年) 村岡 由香(城北小二年) につたかずのり(千里小二年) 田中 里奈(渡辺小二年) 鈴木 里奈(渡辺小二年) さくまひろみ(川内一小二年) こわたゆう(高平小二年) 橋本 崇寛(根本屋小三年) 渡辺 宏美(大東小三年) 加藤咲希子(白河三小三年) 目黒 智也(城北小三年) 新国 由貴(只見小三年) 児山 育子(荒海小三年) 星 みず恵(檜沢小三年) 深沢 正人(宮小三年) 川隅由香里(好間二小三年) 阿部 大樹(磐崎小三年) 佐藤 香織(久之浜二小三年) 芳賀 聖子(川部小三年) 吉田美保子(浪江小三年) 長沢 直子(大田小四年) 木戸 美香(大田小四年) 遠藤 将勝(田沢小四年) 村上 知子(飯豊小四年) 高桑 幸子(白河三小四年) 山本 恵子(鮫川小四年) 蓮沼 伸子(松山小四年) 宮沢 賢吉(奥川小四年) 湯田 桃恵(荒海小四年) 遠藤めぐみ(汐見が丘小四年) 芳賀 史枝(川部小四年) 坂本 宏美(泉小四年) 坂本奈緒美(平六小四年) 蘭辺 聖子(江名小四年) 早川 悦子(宮小四年) 板倉 孝文(太田小五年) 清野 晃一(小国小五年) 武田 美幸(本宮小五年) 遠藤 俊裕(田沢小五年) 近藤恵美子(大東小五年) 大島 勇治(白河三小五年) 岡部多恵子(鮫川小五年) 小原 妃馨(一箕小五年)

【中学校の部】

◆最優秀賞

高橋 清子(鮫川小五年) 大堀 美美(堂島小五年) 星 文恵(荒海小五年) 浜田 明子(汐見が丘小五年) 佐藤 公美(磐崎小五年) 小畑 栄子(檜葉北小五年) 加藤美奈子(太田小六年) 荻野 知子(本宮小六年) 遠藤 正典(田沢小六年) 安藤 広美(上太田小六年) 吉田 豊(飯豊小六年) 矢吹 幸恵(鮫川小六年) 藤森 恵(一箕小六年) 星 由佳子(檜沢小六年) 平塚 未幸(磐崎小六年) 山野辺由香(平六小六年) 荻原 佳典(錦小六年) 愛川 昌俊(好間二小六年) 三戸 徳子(錦東小六年) 作山 七恵(江名小六年)

◆優秀賞

白井 香里(北会津中一年) 大越 綾子(鏡石中二年) 木戸 浩子(清水中三年)

◆優良賞

粒来伊佐子(泉中一年) 蓬田 綾(泉中二年) 荻野 力(新殿中三年)

◆佳作

上野 千尋(内郷一中一年) 小松こづ江(檜原中一年) 鯨岡 麻紀(入遠野中一年) 小井 宏美(内郷一中二年) 本田 美恵(新殿中二年) 福田アユ子(勿来一中三年)



▲ 城北小 4 年 中川祥子



▲ 清水小六年 鈴木晃司



▲ 県北中二年 古小高晋二

昭和 63 年度福島県 P T A 安全互助会
加入状況と事故件数 (1, 1. 31 現在)

区分 地区	小 ・ 中 学 校 別						事 故 件 数		
	小 学 校		中 学 校		合 計				
	加 入 単P数	加入率	加 入 単P数	加入率	加 入 単P数	加入率	学 童	PTA	合 計
福 島	48 (23)	100%	20 (2)	95%	68	99%	278	22	300
達 南	13 (2)	100	3	100	16	100	37	9	46
伊 達	30 (10)	100	8	100	38	100	119	7	126
安 達	33 (13)	100	10	83	43	96	138	6	144
郡 山	57 (5)	97	22	85	79	93	161	30	191
岩 瀬	20 (3)	83	7	54	27	73	89	3	92
石 川	26 (8)	100	8 (2)	100	34	100	87	2	89
田 村	37 (12)	97	14	88	51	94	110	3	113
西白河	27 (11)	100	13	93	40	98	92	0	92
東白川	21 (3)	95	3 (1)	75	24	92	28	5	33
若 松	15	94	7	78	22	88	59	4	63
北会津	16 (5)	100	6	100	22	100	32	3	35
両 沼	17 (8)	94	5	55	23	76	19	2	21
大 沼	10 (2)	100	4	100	14	100	38	3	41
耶 麻	30 (2)	91	10	67	40	81	89	3	92
南会津	19 (1)	100	11	100	30	100	51	5	56
いわき	53 (9)	73	29	69	82	71	49	19	68
双 葉	19 (5)	100	11	100	30	100	85	21	106
相 馬	32 (18)	100	14 (1)	100	46	100	127	24	151
合 計	523 (140)	94	206 (6)	83	729	90	1,688	171	1,859

() は幼稚園数, ○ は養護学校 (福・相) ・分校 (石・東)

県 P T A 安全互助会だより

加入率 九〇% !!

特別加入は
I・II 型へ移行を

当安全互助会の加入に

喜んでい

地区別にみても、一〇

〇% 加入が七地区となり

県下全加入の実現に向

けて、努力中である。

ところで、加入の方式

について、I 型・II 型の

ほかに、特別加入方式が

あるが、移行措置として

残されてきたもので、事

務上の簡素化と保障額の

確保を図るため、平成元

年度より、この方式によ

平成元年交通安全

福島県スローガン

安全は

ゆつくり ゆつたり

ゆとり ゆずりあい

県小中学校新聞コンクール
入賞校決定!

○優秀

学校だより (本郷一小)

三中全会報 (若松三中)

○入選

須中タイムス

(須釜中学生徒会)

無限 (小平中二年一組)

飛躍 (飯豊小五年)

編集後記

金透 (金透小 P T A)

富田ひがし

(富田東小 P T A)

桐の花 (若松五中 P T A)

北方 (喜多方二中 P T A)

鈴懸 (福島一中 P T A)

こだま (高田小 P T A)

みつぐり (行健中 P T A)

いさりび (江名小 P T A)

かがみいし

(鏡石一小 P T A)

しみず (清水中 P T A)

◇学校新聞の部

○最優秀

すずかけ

(福島一中生徒会)

月刊 P T A 購読お願い

いま、県連 P では、新

年度から、「一 P T A 一

冊購読運動」をお願いし

ている。現在、購読協力

校は百十五校、新年度か

ら各 P T A で予算化を図

り、ぜひ購読をお願いし

○優秀

おおえだ

(日和田小 P T A)

(大枝小 P T A)

花かつみ

◇ P T A 会報の部

○最優秀

コンクールに出品する。

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、

特集、地域性などをボー

イントに入念に審査され

入賞校には、賞状、盾が

贈られた。作品から、全

国小中学校 P T A 広報紙

から十一月までに発行さ

れた新聞で、いずれも優

秀な作品が多く、レイア

ウト、内容、写真、記事、